水辺・絆プロジェクト2023

事 業 実 施 報 告 書

事業名	仙台湾・貞山運河活用プロジェクト	実施場所	宮城県仙台市宮城野区・若林区
申請者	貞山運河倶楽部	関連河川名	貞山運河（新堀）

1. 目　的

本事業は、東日本大震災によって津波被災した仙台湾に沿った貞山運河を仙台市の観光資源として活用するプロジェクトです。運河と周辺施設を利活用し、運河への親水事業を展開します。これにより運河の魅力を多くの人に知ってもらうとともに、水辺の体験から知水→治水を学ぶ人材育成を行い、また人々の交流を深め地域の賑わいづくりを推進します。

2. 実施体制（結果報告）

〈主たる実施団体〉
貞山運河倶楽部、新浜町内会
（協力）
せんだいメディアテーク、貞山運河ネット、カワラバン、NPO法人水・環境ネット東北

3. 実施内容（開催日時・場所 など）

1）貞山運河と新浜フットパス（新浜町内会主催イベント）
★8月と10月のイベント内でさくば曳舟の運行を貞山運河倶楽部が担当しました。
・6/25　貞山運河界隈の自然観察フットパス
★8/6　貞山運河の渡し舟と新浜フットパス1：ばん馬による曳舟を実施
・9/3　貞山運河の生きもの観察フットパス
★10/15　貞山運河の渡し舟と新浜フットパス2：人力での曳舟を実施
・11/19　貞山運河界隈の暮らしと新浜フットパス
2）貞山運河フォーラム（貞山運河倶楽部主催イベント）※予定
・2/18　仙台市市民活動サポートセンター　セミナーホール
・参加規模80名程度
・テーマ「貞山運河を活用した事業について（仮）」

4. 参加対象・参加者数

参加対象：　貞山運河に関心のある市民、親子連れ、大学生 など

参加者数：　8/6：91人　10/15：76人

5. 創意工夫した点・配慮した点・苦労した点　など

＜曳舟の運行について＞
昔の曳舟を再現して、和舟の魅力（舟づくりの技術、乗り心地）を体験してもらいました。
・さくば（小型和船）にロープを取り付けるための竿を設置し、陸上（堤防）から曳舟ができるようにしました。
・8月は、ばん馬を貞山運河まで連れて来てもらい、馬による曳舟を実現しました。
・10月は、人による曳舟を行いました。

位置図



6. 総評（実施効果や今後期待される効果、今後に向けての反省点・改善点など）

＜曳舟の運行について＞
・乗船者、曳き役ともに楽しんでいただきました。
・馬は曳く力が強く速かったため、竿が途中で折れてしまい、調整の難しさがありました。
・今後も継続的に運河をPRし、多くの人に知ってもらう要があります。
・運河の課題として、桟橋や浚渫など舟運の為の整備があります。
・人材の育成が必要です。

7. その他感想等（ご自由に記入してください）

水辺から地域を元気に
水辺・絆プロジェクト

事業実施報告書（写真）

		
8/6　馬による曳舟	8/6　馬による曳舟	8/6　馬による曳舟
		
10/15　人による曳舟	10/15　人による曳舟	10/15　人による曳舟